

うおづ市薬薬連携通信

対面会議：6月19日開催

次回オンライン、**7月13日**予定

(5月)

疑義照会（変更有）	170件	退院時連携加算	37件
疑義照会（変更無）	19件	薬剤総合評価加算	7件
トレーシングレポート	24件	薬剤調整加算	3件
入院時薬剤情報提供書	57件		

「会議参加者24名」

- トレーシングレポートの内容としては、がん化学療法および糖尿病のフォーマットを用いた報告をはじめ、ポリファーマシー患者の減薬提案もあり充実していますので、引き続きたくさんのご報告をお待ちしています。
- 入院時提供書の件数が、増えました。これは、薬剤部にて外科系の入院時提供書の同意を取るようになり、入退院センターでの説明が内科のみとなったためと考えています。
- 入院時提供書によって、①未然にアレルギー情報が分かった、②屯用薬の使用方法が分かった、③外来で一包化が出来なかったが、退院時に変更して渡すことが出来たなど、多くの有益性が感じられたと病棟薬剤師から報告がありました。
- 電子処方箋に関しては、進んでいません。10月開始は、無理かもしれません。

(以下、薬局さんより)

- 透析患者について、公費以外の下剤が、公費の処方箋に記載があるので、コメント入力もしくは別処方箋にしてほしい。
→医師に別処方箋での発行をお願いします。(医事課)
- 保険の労災番号が違うことがある。特に、職員の処方箋が違っていることが多い。
→医師が入力の際に選び間違えているので、医師に周知します。(医事課)
- 退院時提供書は、かかりつけ薬局が変更となる場合もあるので、新しい薬局でももらえないか。
→現在は、個人情報保護の観点から受け付けていないが、今後、来局の証明を提示してもらうなど検討して、提供する方向にしたいです。
- 薬薬連携会議の曜日変更はできるか？
→昨年度、いろいろな曜日・時間帯でやってみた結果、結局参加者が変わらなかったの
で、第2木曜日・14:30から行うこととなっている。参加が増えるのであれば、検討したいです。

➤ 地域連携で取り組む手術前中止薬の指導・確認について話し合った。

(配布資料：事前アンケート「感想を募集」結果)

- ◇ 手術前中止薬の有無を患者様に電話することで、改めてコミュニケーションをとる機会があることが、有難いと思っています。またそもそも手術を受けるという事実を知って、次回の投薬に生かせると感じています。
- ◇ 労災病院薬剤部からFAXが届くことで、中止薬について正確に確認することが可能で、またそれまで知らないことも多くあった入院自体に関する情報も得られるため、退院後の対応にも生かすことが出来ます。可能であれば、全ての科で導入していただければ助かります。
- ◇ 薬局薬剤師として、患者に必要な指導・確認を連携して行うことができれば、患者はより安全に、より確実に手術を受けることにつながっていくと思う。積極的な服薬支援・服薬指導・服薬確認を行い、情報を共有することにより、地域医療をより良いものに変えていくことに繋がっている。
- ◇ 当薬局での調剤後、入院までにお薬手帳に記載のない薬が出ることがほぼないですが、その情報提供を行うのが負担であり、簡便化が望まれること、薬局に負担がかかる割に有益性を実感できないことが問題であると感じました。
- ✓ 薬歴について、手帳ラベルの貼付でも良いか？
→大丈夫です。
- ✓ 中止薬がない場合の報告について必要か？
→必要です。新しくチェックボックスを作りますので、指導がなかった場合は、そこにチェックを入れて返信してください。
- ✓ 手術前日の依頼について、返信必要ですか？
→病院側が知らずに、患者が抗血小板薬等を服用していることもあると思いますので、安全のために確認して返信をお願いします。
- ✓ 入院時提供書の必要な患者が分かるように、手帳にカードを入れるなどしてもらえないか？
→入退院センターでも薬剤部でも、カードを差し込むようにします。
- ✓ 当院として、今後も薬局薬剤師に有益性を感じてもらえるように、退院時提供書の更なる充実を図りたいと思いますので、ご意見・ご要望等ございましたら、ご連絡いただければ幸いです。

~~~~~

会議終了後、インスリン等自己注射手技について研修会が行われました。毎年行なわれていますが、忘れたことがないかなどブラッシュアップしていただければと思います。

久しぶりに対面での会議となり、多くの貴重なご意見をいただくことが出来ました。参加者の皆様、遅くまでお疲れさまでした。そしてありがとうございました。次回の対面での会議は9月になります。それまではオンラインとなりますが、多数のご参加をお願いいたします。